

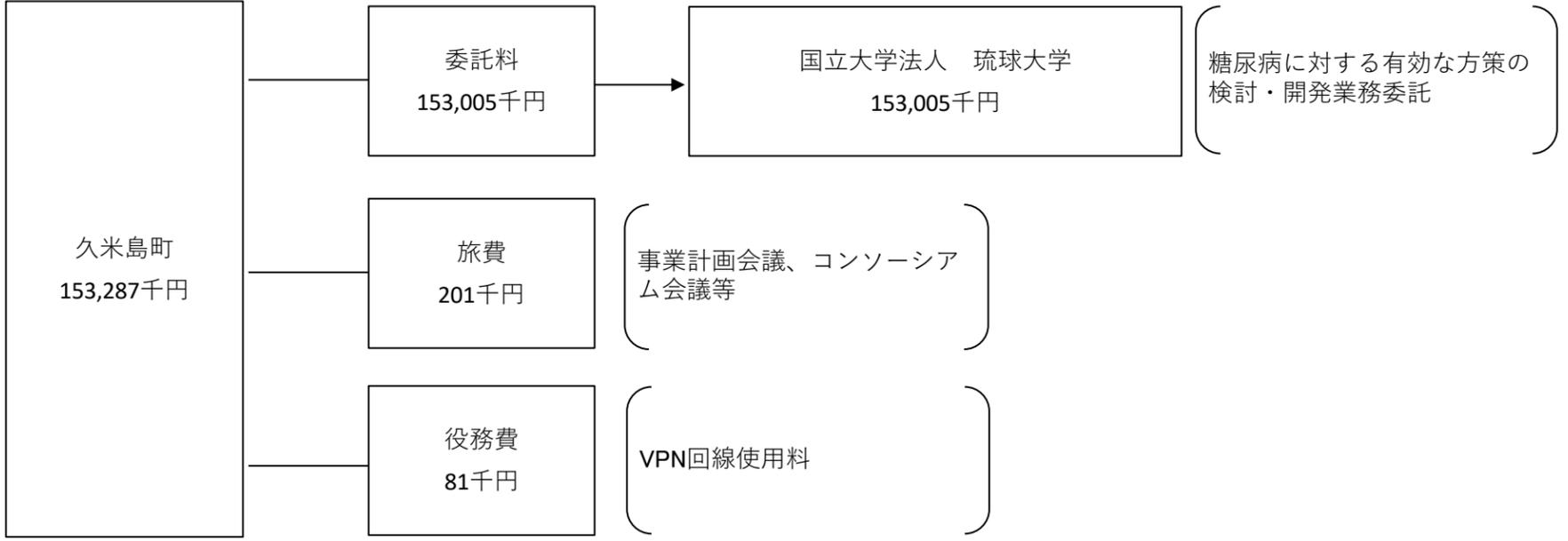
市町村名	久米島町						
令和元年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	久米島町健康増進事業			事業類型	<input type="checkbox"/> 産業振興 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他		
担当部課名	福祉課			事業実施(予定)年度	平成29～令和元年度		
事業内容	久米島特有の糖尿病を誘発する因子を解明し、糖尿病対策の有効策を確立するため、糖尿病の因子解明に向けた調査研究及びをスマホアプリ等を活用した保健指導システムの構築を行う。						
	先導性に係る取組	<input checked="" type="checkbox"/> 自立性 <input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input checked="" type="checkbox"/> その他			
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	184,134	71,233	153,657		
		(b) 予算現額	173,784	71,233	153,657		
		(c) 増減額(b-a)	▲ 10,350	0	0		
		(d) 繰越額	0	0	0		
		A. 計(b+d)	173,784	71,233	153,657		
	B. 執行済額	164,514	70,932	153,287			
	うち補助金充当額	131,611	56,745	122,629			
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	94.7%	99.6%	99.8%			
予算の状況の説明	当初の計画どおり、データ解析及び保健指導システムの構築を行い、事業は適正に執行することができた。不用額370千円については、研究参加者が予定より減少したことによる費用の減である。						
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況					
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	血液、排せつ物の解析を行い糖尿病を誘発する因子の解明	目標	(1件)	(1件)	()	()	
		実績	1件	1件			
	事業参加者数	目標	(-)	(500)	()	()	
		実績	-	347			
	糖尿病解決のためデジタルデバイスを活用した方策の検討	目標	(1件)	(1件)	()	()	
		実績	1件	1件			
	人工知能によるデータ解析	目標	(-)	(-)	(1件)	()	
		実績	-	-	1件		
糖尿病解決のため保健指導ロジックを確立し、デジタルデバイスを構築	目標	(-)	(-)	(1件)	()		
	実績	-	-	1件			
達成状況説明	○糖尿病解決のために、個人のヘルスデータをAIで解析し、確立したロジックによる適切な指導コメントを提供するシステムを構築した。 ○令和元年12月にすべての被験者の介入期間が終了した。						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (年度)	
	生活介入により、ヘモグロビンA1cの値が改善された町民の数	目標			(20人)	(30人)	(-)	()
		実績			30人	33人	-	-
	成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R2年度)	
	介入研究の被験者のうちHbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)の値が改善された被験者の割合	目標			(-)	(-)	(60%)	(60%)
		実績			-	-	23.3%	-
	成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R2年度)	
	介入前より体重が1kg以上減少した被験者の割合	目標			(-)	(-)	(60%)	(60%)
		実績			-	-	40.6%	-
進捗状況説明	<p>○被験者128人中、HbA1cが改善したのは33人(25.8%)であり、目標を達成することができた。</p> <p>○被験者128人中、73人の介入群でHbA1cが改善したのは17人(23.3%)にとどまり、目標達成に至らなかった。</p> <p>○被験者128人中、73人の介入群で介入前より体重が1kg以上減少した被験者は40.6%にとどまり、目標達成に至らなかった。65歳未満男性の特定の層ならびにアプリ使用頻度の高い被験者では有意に体重減少・HbA1c改善を得たことが明らかになった。</p> <p>これらの成果は令和2年10月日本糖尿病学会九州地方会、令和3年3月日本肥満学会・日本肥満症治療学会学術集会、同年4月日本内分泌学会学術総会などの学会で発表した。</p>							
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)			改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)				
	<p>○特定健診の受診率がR1年39%と低い状況であり、またメタボリックシンドローム該当者の割合が34.7%(予備軍21%)と多く、特定保健指導を実施したいが、限られた保健師・管理栄養士・看護師で実施していかなければならない。</p>			<p>○介入群でアプリ使用頻度が高い被験者の体重減少・HbA1c改善が見受けられたことから、介入プログラムを保健指導システムに組み込み、保健師・管理栄養士・看護師の負担軽減を図る。</p>				
今後の取り組み方針								
<p>○慢性的な保健師、栄養士などの専門職不足の中、保健指導システムをとおしデジタルデバイスを活用した保健指導を行うことにより、糖尿病等の対策を行う。さらに琉球大学では研究データを引き続き解析し久米島町に提供する。解析結果を基に糖尿病の解決により有効な保健指導を行う。</p> <p>○R2年度はコロナ感染症の流行により集団健診が中止となり、保健指導システムの活用ができなかったが、R3年度は集団健診が実施できたため、糖尿病重症化予防の対象者を絞り、デバイス上で指導していく。</p>								

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
153,287	153,287	122,629	30,658	0



資金の 用途の 流れ、 費目・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	委託先は「久米島町健康増進事業」を効率的に営み、優れた成果を達成することを目的としたコンソーシアム構成員であり妥当である。また地方自治法施行令第167条の2項第1項の規定により随意契約としている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算の積算については、見積書を厳正に精査した。また、不用額は事業費の1%以下であり、適正な規模であると考えられる。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費目・用途に関しては、予算要求時に財政担当の査定を受けており、かつ検収時において確認を行い適性であった。

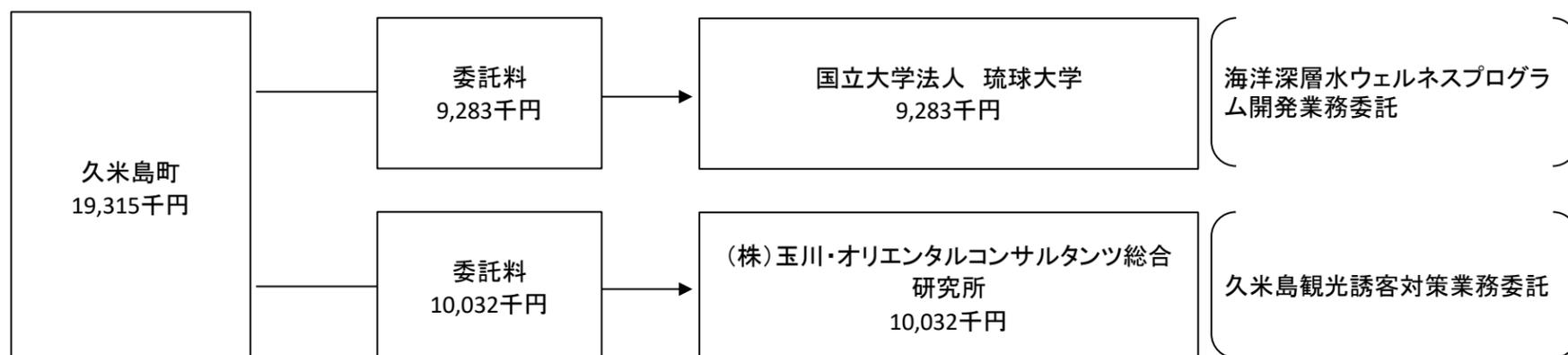
市町村名	久米島町						
令和元年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	海洋深層水を活用した新体験プログラム形成事業			事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他		
担当部課名	商工観光課			事業実施(予定)年度	平成30～令和元年度		
事業内容	観光誘客及び観光客の消費額増を図るため、海洋深層水を活用した体験プログラム等の商品開発及び体験プログラムを担う人材を育成する。						
先導性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性 <input checked="" type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他				
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和3年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	19,118	21,837			
		(b) 予算現額	19,118	21,837			
		(c) 増減額(b-a)	0	0			
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計(b+d)	19,118	21,837			
	B. 執行済額		17,388	19,315			
	うち補助金充当額		13,910	15,452			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率(%) (B/A)		91.0%	88.5%			
予算の状況の説明		概ね当初計画通りの予算執行であった。不用額2,522千円については、事業執行に際し専門的な事業者を取入れたことで委託先の直接執行経費が圧縮され、委託費が減額となったことによる執行残である。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	海洋深層水を活用した新体験プログラム形成事業	目標	(1件)	(1件)	()	()	
		実績	3件	1件			
	新体験プログラムの担い手育成	目標	(2名)	(2名)	()	()	
		実績	2名	2名			
	海洋深層水を活用したウェルネスコミュニティ形成	目標	(-)	(-)	()	()	
実績		-	-				
達成状況説明	○プログラム形成事業においては、これまで造成したウェルネスツアーを販売するWebサイトを構築した。 ○担い手育成においては、ツアー商品のサービス提供を担う人材育成を行い、2名のコンシェルジュを育成した。 ○ウェルネスコミュニティの形成においては、次世代を担う地元高校生を対象に「観光」をテーマとした研修会や実践発表会を開催し、地域連携体制における人材育成を図った。						

成果目標 (指標) 及び進捗状況	成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R4年度)
	実用化された新体験プログラムを目的とした 入域観光客数	目標		(-)	(-)	(-)	(1,200名)
		実績	-	-	-	-	-
	成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R4年度)
	観光客1人当たりの消費単価 新体験プログラムの客単価	目標		(-)	(-)	(-)	(10,000円)
		実績	-	-	-	-	-
成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R3年度)	
新体験プログラム(ツアー)への参加者数	目標		(-)	(-)	(-)	(600名)	
	実績	-	-	-	-	-	
進捗 状況 説明	<p>他地域と差別化した地域資源である海洋深層水を活用した「ウェルネスツーリズム」を開発、造成することができ、また、開発および造成した新プログラム(誘客商品)の運営・担い手として設立を進めていた久米島版DMOも国(観光庁)へ候補法人として申請・認定を受けることができた。</p> <p>○入域観光客数については、H30年度では103,309名であったのに対し、R1年度は100,716名であった。</p> <p>○消費単価については、プログラム商品販売開始以降に単価調査を実施し、整理する予定。</p> <p>○参加者数については、プログラム商品の販売がこれからなので、今後整理する予定。</p>						
取組 の 検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)			改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)			
	<p>現在、新型コロナウイルス感染症の蔓延により、積極的な誘客戦略が推進できない状況である。</p>			<p>新型コロナ禍においても誘客ツールとして活用できる実施体制を、感染予防を中心に検討し整えることが必要。</p>			
今後の取り組み方針							
<p>新型コロナ禍においても展開できる体制を構築し、誘客に繋がる展開を図る。</p> <p>また、開発・造成したプログラム毎にターゲット化し、戦略的に展開していく。ターゲットについては、「美容」=若年層や女性、「健康」「心身疲労回復=リフレッシュ」=個人旅行、企業研修・旅行(MICE)等、顧客ニーズとテーマやプログラムをマッチングさせ、誘客を戦略的に取り組む。</p>							

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
19,315	19,315	15,452	3,863	0



資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	事業目標達成に必要なノウハウやスキル、体制が整備されており事業実施先として最適な事業者を選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	見積り精査のうえ、予算を編成した。また、不用額は事業費の1割程度であり適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業目的を達成するために必要な費目で予算化しており妥当である。また、予算要求時に財政担当の査定を受けており、検収時(完了検査)において確認を行い適正であった。

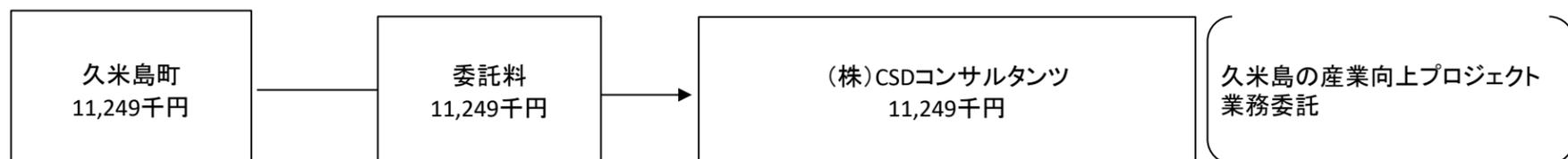
市町村名	久米島町						
令和元年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	久米島の産業魅力向上プロジェクト事業			事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他		
担当部課名	商工観光課			事業実施(予定)年度	平成29～令和元年度		
事業内容	島内事業者の経営改善及び新規事業創出を図るため、セミナー開催や専門家派遣等の支援を行う。						
	先導性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性 <input type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input checked="" type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他			
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	19,561	9,715	11,908		
		(b) 予算現額	19,561	9,715	11,908		
		(c) 増減額(b-a)	0	0	0		
		(d) 繰越額	0	0	0		
		A. 計(b+d)	19,561	9,715	11,908		
	B. 執行済額	12,889	8,664	11,249			
	うち補助金充当額	10,311	6,931	8,998			
	次年度繰越額	0	0	0			
	執行率(%) (B/A)	65.9%	89.2%	94.5%			
予算の状況の説明	概ね当初計画通りの予算執行であった。不用額659千円は打合せやセミナー、勉強会等を包括的に実施できたため、旅費等事務局費用が計画より数量(回数等)を変更(減)したことによる執行残である。						
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	企業ブランディング支援対象社数	目標	(3社)	(3社)	(3社)	()	
		実績	3社	3社	4社		
	中核人材育成支援(研修会、勉強会、ワークショップ等)実施回数	目標	(3回)	(3回)	(3回)	()	
		実績	3回	3回	4回		
	中核人材育成支援(研修会、勉強会、ワークショップ等)参加企業数	目標	(5社)	(5社)	(5社)	()	
実績		5社	5社	3社			
達成状況説明	○企業ブランディング支援については、これまでの事業実績が認知された成果から希望する企業が増え目標を上回った。 ○中核人材育成支援については、複数回開催への参加を危惧する企業が多く、目標を下回る実績となった。						

成果目標(指標)		基準値 (年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値 (年度)
			(-)	(-)	(4)	()
クラウドファンディング(成立)件数	目標		(-)	(-)	(4)	()
	実績		0	0	1	-
成果目標(指標)		基準値 (年度)	H29年度	H30年度	R1年度	目標値 (年度)
中核人材育成支援(研修会、勉強会、ワークショップ等)参加者数	目標		(-)	(20人)	(20人)	()
	実績	-	44人	15人	28人	-
経営改善支援を受けた者のうちアンケートにより経営改善に必要な知識、ノウハウが習得できたと回答した割合	目標		(-)	(-)	(80%以上)	()
	実績	-	-	-	87.5%	-
クラウドファンディングを実施した企業の目標支援金額達成率	目標		(-)	(-)	(100%)	()
	実績	-	-	-	100%	-
進捗状況説明	<p>○多くの町内企業・事業所のブランディングや中核人材の育成に取り組み、生産性の向上や企業戦略に結び付けることができ、地域産業の魅力化や今後の発展に寄与することができた。</p> <p>○企業等にとって新たな資金調達手段となる「クラウドファンディング」についても、セミナーや研修会等で手法や知見を広げることができた。</p>					
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)			
	<p>○小規模や個人事業者が多く、集合体でのセミナーや研修会開催に苦慮した。</p>		<p>○各企業・事業所のブランディングや成長に結び付けるため、各々の企業・事業所単位での取り組みを促進、充実させることが必要。</p> <p>○本事業で習得した知識を活かし、各企業・事業所において取り組める環境を構築させることが必要。</p>			
今後の取り組み方針						
<p>○本事業は令和元年度で完了となるが、事業に参加した企業・事業所のフォローアップに取り組み、本事業の成果を今後の地域活性化に活用していく。</p>						

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
11,249	11,249	8,998	2,251	0



資金の 使途の 流れ、 費目 ・ 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	事業目標達成に必要なノウハウ、スキル、体制が整備されており事業実施先として最適な事業者を選定した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	見積り精査のうえ、予算を編成した。また、不用額は事業費の1割未満であり適正な規模であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	事業目的を達成するために必要な費目で予算化しており妥当である。また、予算要求時に財政担当の査定を受けており、検収時(完了検査)において確認を行い適正であった。

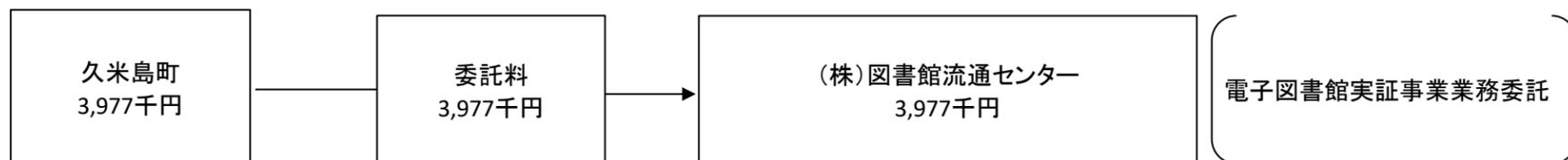
市町村名	久米島町						
令和元年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	久米島町電子図書館実証事業			事業類型	<input checked="" type="checkbox"/> 産業振興 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他		
担当部課名	教育課			事業実施(予定)年度	平成30～令和2年度		
事業内容	電子図書館の効果的な運営方法、利用促進手法、住民のニーズ等を検証する。						
先導性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性 <input type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input checked="" type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input checked="" type="checkbox"/> その他				
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	年度	
	予算の状況 (a) 当初予算額 (b) 予算現額 (c) 増減額(b-a) (d) 繰越額 A. 計(b+d)		6,293	3,977			
			6,293	3,977			
			0	0			
			0	0			
			6,293	3,977			
		B. 執行済額	6,128	3,977			
		うち補助金充当額	4,902	3,181			
		次年度繰越額	0	0			
		執行率(%) (B/A)	97.4%	100.0%			
	予算の状況の説明	当初の計画通り、本町イベント会場にて電子図書館実証及び利用促進を図ることができ、事業は適正に執行できた。					
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)	達成状況					
		H30年度	R1年度	R2年度	R3年度		
	実証実験及びアンケート実施	目標 (1件)	(1件)	()	()		
	実績	1件	1件				
達成状況説明	○本屋や図書館のない町民らに対して、電子図書館を活用し、読書の機会を提供することができた。 ○町広報誌やFMくめじまにて情報を発信するとともに、町内各所に利用促進ポスターを掲示することで電子図書館の周知を図った。 ○町イベント会場でタブレット5台を活用した利用体験と町内5小・中学校で電子図書館の利用促進につなげるための聞き取り調査を行った。						

成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R2年度)
			(-)	(-)	(1,200人)	(1,200人)
電子図書館利用者数(利用登録者数)	目標		(-)	(-)	(1,200人)	(1,200人)
	実績	-	286人	359人		-
成果目標(指標)		基準値 (年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値 (R1年度)
電子図書館が整備されたことで、利便性の向上が図られた割合(*R1閲覧回数/H30閲覧回数) 822/1019(対前年度比)	目標		(80%以上)	(80%以上)	()	(80%以上)
	実績	-	88.4	80.6		-
電子図書館が整備されたことで、読書時間が増えた割合(*R1貸出冊数/H30貸出冊数) 458/538冊(対前年度比)	目標		(-)	(80%以上)	()	(80%以上)
	実績	-	-	85.1		-
進捗状況説明	<p>○事業計画と合わせて利用促進体験イベントを4回開催し、利用体験や登録を呼びかけ、電子図書館に関する周知を図った結果、令和元年度実績で閲覧数822件の閲覧に対して458冊が貸し出された。また、令和元年度時点での利用登録者数は359人となっている。</p> <p>○利用者を対象としたアンケートを実施し、「利便性の向上が図られた」と回答した割合は80.6%であり、また、「読書時間が増えた」と回答した割合は85.1%であり、それぞれ目標を達成した。</p> <p>○年代別統計で30～50代の利用者が約71%となっており、土日の休日に利用される結果が得られたことから、少ない余暇時間の中で満足して利用されていることが窺える。</p>					
取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)			改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)		
	<p>○利用促進イベントの開催月は、電子書籍の閲覧や利用貸出は多いものの、それ以外の月は伸び悩んでいる。</p> <p>○初年度アンケートに加えて、令和元年度は学校図書館司書への聞き取り調査を行ったところ、本町電子図書館を知っているものの利用していないとの結果が得られた。</p> <p>○10代の登録や利用が少ない原因として、モバイル端末の利用者が少ないことと、通信料を使いたくない子どもが多いことが聞き取りで得られた。</p>			<p>○学校現場への聞き取りから読書習慣が高く、調べ物もインターネットを使用するとの回答が得られたことから、調べ学習に適したコンテンツを充実させるとともに、教職員や児童らに活用方法を提供する必要がある。</p> <p>○令和2年度に開館する複合型防災・地域交流拠点施設の図書利用と併せて、電子図書館の利用受付を行うとともに、タブレットと施設機器を活用して更なる利用促進を図る必要がある。</p> <p>○電子図書館の利用促進を図るためには、島内WiFiの環境整備を行う必要がある。</p>		
今後の取り組み方針						
<p>○事業で調達するコンテンツとは別にデジタル化された自治体の独自資料や地域資料を電子図書館で充実させることで、調べ学習や学校等での利用促進につなげる。</p> <p>○次年度が事業最終年度であることから、利用体験イベントや電子図書館サイトにおいて利用アンケートで得られた課題や取組状況を整理し、事業完了報告書に取りまとめる。</p> <p>○コロナウィルス感染拡大に伴い、図書館等の利用が制限されていることから、図書館に来られない状況でも利用できる電子図書館の利点を活かして読書や学習環境を整備を図る。</p>						

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
3,977	3,977	3,181	796	0



	評価	点検項目	評価に関する説明
資金の 用途の 流れ、 費目 ・ 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	支出先は初年度に電子図書館システム構築及び実証事業委託業者であり、見積内容を精査した上で選定していることから、妥当であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	積算に当たって専門業者より徴収した見積を精査し、事業を執行するために必要額を計上したことから、適正規模と考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用、用途ともに積算及び事業経過画策定時において検証していることから、実証事業の目的に照らし合わせて、必要であったと考える。

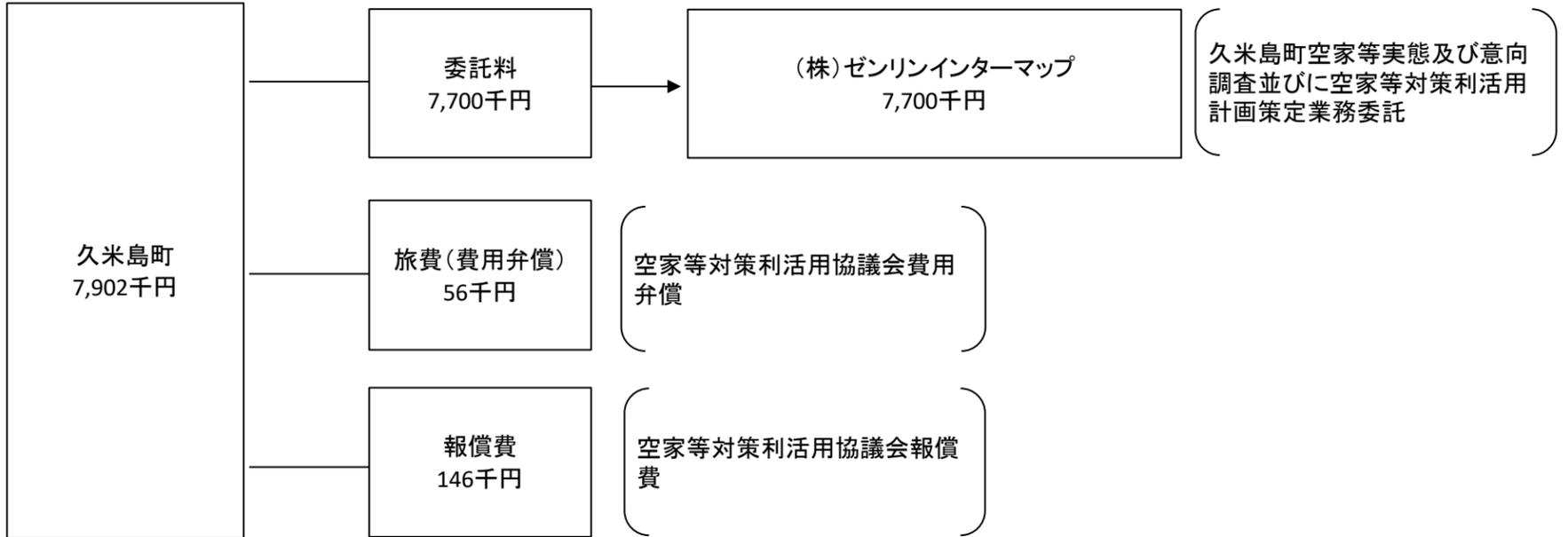
市町村名	久米島町						
令和元年度沖縄離島活性化推進事業費補助金検証シート							
事業名	久米島町空き家活用事業			事業類型	<input type="checkbox"/> 産業振興 <input checked="" type="checkbox"/> 定住促進 <input type="checkbox"/> その他		
担当部課名	企画財政課			事業実施(予定)年度	令和元年度		
事業内容	移住者等の住宅不足の解消を図るため、空き家の活用に向けた現状調査及び空き家対策計画策定を行う。						
先導性に係る取組	<input type="checkbox"/> 自立性 <input type="checkbox"/> 官民協働	<input checked="" type="checkbox"/> 政策間連携 <input type="checkbox"/> 事業推進主体の形成	<input type="checkbox"/> 離島活性化を担う人材の確保・育成 <input type="checkbox"/> その他				
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和2年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「補助金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R3年度	年度	年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,198				
		(b) 予算現額	8,198				
		(c) 増減額(b-a)	0				
		(d) 繰越額	0				
		A. 計(b+d)	8,198				
	B. 執行済額	7,902					
	うち補助金充当額	6,321					
	次年度繰越額	0					
	執行率(%) (B/A)	96.4%					
予算の状況の説明	当初の計画どおり、本町の空き家に対する有効な方策の調査・計画を執行することができた。不用額296千円の内訳は委託料の入札残、空き家対策協議会委員の協議会欠席における報酬費の減額及び委員の旅費の減額である。						
活動目標(指標)及び達成状況	活動目標(指標)		達成状況				
			R1年度	R2年度	R3年度	年度	
	空き家調査	目標	(1件)	()	()	()	
		実績	1件				
	空き家対策計画の策定	目標	(1件)	()	()	()	
実績		1件					
達成状況説明	○空き家調査については、町全域を対象に、調査候補とされた598件を対象に外観目視による現地調査の実施を行った。その結果、空家等と推定された件数は155件あり、その建物に対して不良判定を行った。また、所有者のあて先が特定できた131件の所有者等に対して意向調査の実施を行った。 ○空き家等の利活用促進のため、令和2年2月「久米島町空家等対策利活用計画」の策定を行った。						

成果目標(指標)	成果目標(指標)		基準値 (年度)	R1年度	R2年度	R3年度	目標値 (年度)
	空き家バンクに掲載された物件へのマッチング成約率	目標			(-)	(50%)	()
実績				-	70%		-
成果目標 (指標) 及び進捗状況	進捗 状況 説明	<p>○令和2年度は空き家バンクに掲載された物件が10件あり、うち7件が成約した。</p> <p>○移住定住相談窓口である島ぐらしコンシェルジュ(地域おこし協力隊)内に空き家相談員を配置し、今後も活動を継続する。</p> <p>○毎月、町広報誌に空き家コラムを載せることにより、空き家の利活用や対策について情報提供を行っている。</p> <p>○住まいについての相談フォーム「不動産アンケート」を令和2年4月より運用開始し、90件の問い合わせがある。(令和3年3月末時点)</p> <p>○空き家バンクへの登録は2件、そのうち1件は商談中となっている。</p>					
取組 の 検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)			改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)			
	<p>○空き家バンクへの相談は増加傾向だが、家屋の相続登記がなされておらず、空き家バンクへの申請までに時間を要している。</p> <p>○空き家調査で確認ができた155物件のうち、空き家バンクへの登録にまで結びつけることができたのは一部のみである。</p>			<p>○未登記や相続登記がなされていない空き家が多いため、相続登記の必要性を伝えることが必要。</p> <p>○空き家予備軍についての実態把握が必要。 (空き家予備軍:65歳以上の高齢者単身世帯が現在住む戸建住宅とマンションの持ち家を指す。)</p> <p>○空き家利活用促進補助金制度を設け、空き家の利活用促進が必要。 (久米島町空き家バンクに掲載する空き家の改修及び家財撤去に係る費用の1/2上限50万円を補助するものである。)</p> <p>空き家の改修等にかかる経費の一部の支援を行うことで、慢性的な住宅不足の緩和や移住定住の促進を図ることができる。</p>			
今後の取り組み方針							
<p>○未登記物件の場合、多くは土地の名義も先代のままとなっている場合が多い。そのため、相続登記の必要性を伝えるべく、老人会やデイサービス事業所へ出向き、相続登記や空き家活用の講座「おしかけ講座」を行う。(新型コロナウイルス感染症の影響により実施できていないため、今年度引き続き取り組みを行う。)</p> <p>○空き家バンクへの登録強化のため、定期的に広報活動を行う。(町広報誌、ラジオ等)</p> <p>○令和3年供用開始予定の納骨堂を利用する方に対して「空き家・空き地バンク」のチラシを配布するなど、納骨堂担当課と協力をし、空き家バンクへの登録強化を図っていく。</p>							

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	補助対象事業費	補助金充当額	市町村負担金	補助対象外経費
7,902	7,902	6,321	1,581	0



資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	企画公募等により選定された事業者であり、これまでの事業実績から見ても妥当と考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	予算の積算については、3者見積りにより行った。不用額は事業費の5%以内であり、適正な規模であったと考える。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	—
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	費用・使途については、予算要求時に財政担当の査定を受けており、かつ、検収時において確認を行い適正であった。